

## 第2回学校2学期制検討委員会

H22.12.1

小田原市合同庁舎 2B会議室

### 会議録

鈴木；こんにちは、ただいまから第2回学校2学期制検討委員会を開催いたします。初めに資料の確認をします。1次第2検討委員会の設置要綱、3検討委員の新しい名簿4実態調査を行うためのアンケート（調査部会より）になります。

本日は島津委員が欠席となっておりますが、設置要綱第4条により2分の1以上の出席がございますので、本会が成立していることをご報告いたします。

なお、前回の会議を踏まえまして文言の整理などを含め改めて作り直しました設置要綱を配布しておりますのでご確認ください。

今回の会議も公開、記録のために録音をしていることをご了承ください。

#### 1 新検討委員の紹介 田中委員（新玉小 城山中の保護者）

鈴木；前回の会議におきまして、保護者の方に一名加わっていただくことになりました。先に新たに検討委員としてお引き受けいただいた方をご紹介します。名簿の11番の田中さん、自己紹介をお願いします。

田中；今日から参加させていただきます。新玉小学校で3年生と5年生城山中学校で3年生の子供がおります田中みゆきでございます。

#### 2 議題

##### (1) 学校2学期制に関する実態調査の方法について

鈴木；議事に移ります。上野代委員長に進行をお願いします。

上野代；みなさん、お疲れ様です。12月、皆さんお忙しい時期かと思いますが、お集まりいただきましてありがとうございます。また、調査部会の方ではいろいろお忙しい中にこれだけの資料をご準備いただきまして、感謝いたします。それでは議題をすすめます。(1)の学校2学期制に関する実態把握の方法について調査部会長大輪様よろしくをお願いします。

#### 提案

大輪；前回の会議をうけ7名の調査部会の委員として学校のありようについて、前回の提起された課題についてどのように実態を把握し、検証していくかについて、3回の調査委員会を実施、その内容を報告。内容については、18年度の2学期制のアンケートのその数字が今残っています。それと併せて今回の検証という意味において、あまり文言を変えないで内容変えたものでは比較対象にならないのではないかとということからできるだけ生かした形で望めないかをベースにして話し合いを進めてきた。また、その時の文言は5年を経過したということで、今の発問にそぐわないということもあるので、また、その文言だけでは言い尽くせないところもあるので、( )書きで意見を集約しようと、そんな形をとりながら、基本的にはアンケートの項目をできるだけ前回に準じて増やさない形でできるだけ意見欄のところでいろいろな意見を集約し対応することが一番いい形であると結論に達し、保護者用、教師用、児童生徒用 発問を連動させている。前

回のときの今の小学生は3学期制も知らないよというご意見もありましたので、2学期制というものをどのくらい自分たちが受けとめ、学校ではどのような形でそのことを児童生徒へ反映させているかというそういう視点での発問の中で検証していくというような発問になっているとおもいます。また、中身について意見をいただき、より良いものへしていきたい。それぞれの2学期制が生きて働くような実践をしたことを踏まえてより機能してスムーズな学校経営に円滑な教育課程の実践ができるようなそんなことが話し合われていくと非常にありがたい。このまとめていく手順については後程事務局より話があるとおもいます。

鈴木；12月にまとめ、1月に学校で実施、2月上旬に集計をあげていただき、2月中に調査部会で集計していきたい。それを受けて、第3回の本会でまずはアンケートの状況の報告をし、来年度5回ほどの会で今後の2学期制のあり方について検討いただく。

大輪；実施要領（案）に対象は小4から6中1～3年1学級抽出は各校にまかせる。標本数は1学級40人前後、1000以上でまとめる。児童生徒、保護者について同じでなくても、標本数は1000以上であれば信憑性があるということをお願いしたい。討議の中で委員にもそんな話が出てくるかと思えます。いろいろなご意見が出てくることを期待しております。

上野代；アンケートを初めて目にする方もいるので5分ほど見ていただく。

15：09～15：14

上野代；実態把握のアンケートなどについて質疑応答を、忌憚のない質疑をお願いします。

小宮；この検討委員会がなんのために行われているのかははっきりしないと議論できない。第1回目も議論しましたが、それがはっきりしないと。たとえば、アンケートの趣旨があるが、「今後の2学期制などのよりよいあり方を検討」の「など」とあるのはどういう意味があるのか。今後の2学期制のよりよいあり方を検討するのか、2学期制をやってきたがそれも含めてもう一度2学期制と3学期制と比べて考えるのか、そういうことでいいのかどうか。もし、2学期制のよりよいあり方を検討するというのであれば、今後も2学期制をやるということが前提に立って、さらによりよい2学期制をやる意味でどうしたらよいのか、意見として言いたいということになりますので、そのあたりをはっきりさせた方がいいかな。

大輪；調査部会は実態調査について請けおって趣旨に対して見解は述べられない。基本は2学期制に関するアンケート、今の実態がどうなのかということ把握して、そのあとで検討委員会はそれをもとにして小宮さんの言ったことを判断をして、やって下さるという会議でないのか。

小宮；2学期制を5年間やってきた。それを検証するのか？3学期制と比べてどうかという意見もここにもでてくるということでしょうか。

大輪；今をどうするかと考える人もいる。以前こうだったという人もいる。その辺は（ ）書きの中に文章としてそれがでてくるかなという風に考えてアンケートは作っている。

小宮；「など」にはほかに何があるのか

大輪；2学期制を進めるという見方もあるが、以前と比べてということもある。3学期制という文言を入れると3学期制も考慮するのかという先入観を持たれる。「など」ということにより、方向性としてどちらでもいくよう、含みを持たせた。今の検証をするということで前回の意見があった。ずばりこっちへ向けていきますよという考えのアンケートではない。

川久保；検討委員会は今の2学期制を、課題を整理して今後どうするか、よりよい方法を考えていく。2学期制の検証を通して、よりよい学期制をとということで、そこで2学期制の2をとり、

学期制とするのはどうか。

小宮；5年間やってきた2学期制について意見を伺うということにしてはどうか、その後今後のよりよい方向性を検討してはどうか。今後ではなく、今までの2学期制はどうだったのか意見を伺いたい。意見を伺った後に、さらに2学期制のこういうのを変えていきたい、変えていきますよ、とか、3学期制がよいという意見が読み取れたとか、そうになっていくわけですね。今後のではなくて、今までやってきた5年間についてどうであったかをお聞きしたいという文面にした方がいかな。

上野代；これは大輪先生よろしいでしょうか。

大輪；文言をその方向で変えて出していきたい。

小宮；前回同じようなアンケートをやったと言われたが始まってすぐだったのか。

鈴木；平成19年の1月に行っている。

小宮；そのアンケートと結果を教えてもらいたい。それをもとに考えたい。

上野代；事務局の方ではどうですか。

小宮；資料としてほしいということ。

上野代；回覧するでよろしいですか。

井上；児童生徒用の①の「授業が分かる」と「楽しい」は2つを聞くようになっているが楽しいけどわかっていないとか、児童がつけることなので、もし一個入れてもらおうとすれば、授業がわかると楽しいは分けてほしい。児童生徒が、自分が理解しているかどうかという項目を入れてほしい。本当はわかっていない自分もあるのかな。そういったことがわかるような設問としてないのかな。

大輪；調査部会で話をしたのは、ルビをふってあってもわからないケースがあり、だから教師が読んであげるように注釈した方がよいのではないかという話をしました。あまり文章が長くなるとかえってわからなくなる。短く、易しい言葉でわかりやすく、それでもまだ難しいところがあるのかな。

高橋；児童生徒用の①、はたして2学期制と関係があるのか、前期後期の切り替えはうまくできているのかなど、2学期制への対応を聞きたい。今までは組合の方でもオルグ等を通して、先生方に2学期制3学期制について聞いてお話してもらったのですが、教職員の②は増えた授業時間を増やしてかかわる時間が増えたかという設問は実感がない。時間が増えたかという実感聞く方が大切ではないか。子どもとかかわる時間を大切にすることが増えたと思いますか、時間が増えたかどうかを検討することがこれからの制度の変更がどうだったのか検証することが退治ではないか、③長期休業までに通知表がないことについて、これも子どもの学習の様子や生活の様子を保護者に伝えることことが長期休業前に行く必要があるかを聞くことも大切ではないか、そのニーズが本当に長期休業前にあるのかどうか、聞いていくことも大切かと思いました。

大輪；全部出してもらいたい

小松；教職員用③中学の場合は、長期休業前に仮評定を出しているので実態と合わないかと感じます。ある学校もあるが、ないところもある。仮評価という言葉や、またや教育相談や仮評価などを提示して。保護者用の四角をすっきりしている。教職員は2段目は同じでよいのでは。保護者用の初めに2学期制のよさを取り上げました、という文言は必要であるか。それから、児童生徒用④頑張っていますか はよい言葉ではない。努力していますかの方がよいのでは。

上野代；今すべて意見を頂戴したいと思いますのでほかに質疑ご意見を。

高田；高橋さんに補足で話しますが、アンケートの趣旨から考えると5年前のものと比較はわかるが、5年たつてこの検討委員会が立ち上がってきた背景というのは、2学期制にかわって様々な課題が少しずつ上がってきていることがある。その課題をアンケートの中から浮かび上がらせて、それについて討論するということが根本になっているとは思いますが、あらかじめすでにわかっている部分が少なからずみなさん感じているところがあると思う。たとえば、授業時数増の問題についても3学期制から2学期制になってどうか変わったか、新学習指導要領が変わったことによって、授業時数増についてはどうとらえるかがアンケートではわからない。教師用やもしくは学校用のアンケートをもう一つ準備して、授業時数がどれだけ上乗せしているかを問うとよい。中学校の入試についても触れられていない。中学校は2学期制になり、成績を出す機会が増えた。2学期制をやっている南足柄の例では、夏の前に成績を出さない。なぜかという、2学期制になったメリットが感じられないから、夏休み前に評価を出すのはやめようということにして、そのかわり面接はやっている。だから余裕があって2学期制がよいというのが意見としてある。小田原の学校はまずデータとして実態を出した方がよいのでは。今後検討するときの大きな材料になっていくのではないか。ここから出てきた話し合うというスタイルもあると思う。あらかじめ、授業時数や入試の関係はもう課題としてわかっている部分なので、単純に5年前と比較するだけでなく、アンケートに含めてみるのはどうか。

上野代；そのほかにありますか。

大輪；おなじところでもんでもらいたい。文言を整理して、今後の日程からすると、ここでアンケートを検討して1月から動き出せばありがたい。先へ進んでいかないので。文言等の差し替えについて検討していただき、差し替えを一月に動き出したい。

井上；委員長一任とできないか。あるいは調査部会に一人ということではできないか。意見を踏まえてということ。

大輪；意見はいろいろある。増えた時間も当然増やす趣旨の2学期制をやっているわけでその時間がどのように使われるか、先生方がどういう風にとらえているのか、その保護者の考え方としては、2学期制で増えた時間というとらえで書いているが、夏季休業に入る前に通知が保護者もいる。

田中；そうです

大輪；学校によって休み前に出した仮評価は9月夏の課題を含めて前期につくのかというところをつけている学校もあればつけていない学校もある。前期9月の内容を含めて出す学校、9月は後期に含めてしまう学校もあるということを学年の初めに保護者の方へご了解をいただいてやっている。施行校の忙しさも聞いているが定着してよかったという感想も聞いている。忙しさを解消してきた経緯もある。小中の違いもある。中学校は他校と比較されることもある。多岐にわたっている。初めからたくさん抱えて、解消しながら今日まで至っている。解消できたところとできていないところがある。PR、保護者への理解など含めた中で、文言一つ一つにこだわると……大きな視点で見てもらいたい。保護者用の四角の2行教職員用を流用できそう。

上野代；井上委員からの提案もあるがどうか、保護者、西教組の方にももう少し意見をいただくか。意見を反映したものをアンケートを調査部会にもう一度作っていただいて、それを一任をさせていただき、提出してもらおうということ。特にお聞きしたいのが、保護者のアンケートです

か。

大輪；井上委員のご指摘、2学期制、前後期の接続どうかは追加になる。どちらが先になるかわからないが、増えた減ったという教師用はカットしても構わない。

小宮；保護者用②は保護者はわかるか、どうか。

井上；言い出したらきりが無い。保護者はウ、エはあまり出ないのでは。調査側にこれを出したいというのがあればアンケートが変わってしまう。おおざっぱな内容把握と理解している。学校はこんなことやっている、していますか なども考えられる。目的がどこにあるかによってずいぶん変わってくる。やり方もちがう。大きく見てくださいというお話もありましたので、これでいいかと思う。

小宮；2学期制うんぬんとかかわりがあるのかというのがどうなのかと思う。2学期制をやってきたことを踏まえて考えてほしいとのことだが、そういったことがわかるのかなと思ひまして。

大輪；調査部会でも、井上委員が前回は話をされていた、経験していない保護者、職員がいるかもしれない。その部分をどうしていくかと考えた時に、まず、アンケートをとってそれをベースにして討議したいと考えた。文言に適正を欠く部分もあるが、まずとってベースにしていく。個人的には市内の学校全体がバラバラになることが問題と思っている。小中一緒でないと、また、そうでないと、保護者の考えもあるだろう。そういうことを踏まえた中でどうするかを考えていくべき。季節感ないし、区切りがないという意見はわかるが、でも市内全体でそろえてやっていこうというスタンスを大事にしたい。

杉山；3つの資料、最大限いかすことで考えた。皆さんにわかりやすいように考えた。基本的にはこの形でやってほしい。いろいろな意見が出てくるであろうということを予想しながら考えて結果を集約していこう。言葉でまずい点は直すべき。H18とタイアップしている。多くは問うことが難しい。言葉を拾って討議したい。学校評価もやっているので、1から6の枠でとどめないと信頼性が失われる。

上野代；思いは（ ）の中に保護者はストレートに書いてくると思う。ここに集約されてくると思う。6枠の項目で討議することになるだろう。大輪先生の方で確認しておきたいことはあるか。

大輪；ここで文言を整理して、もう一度想起させていただく時間をいただけるか。先ほど一任という言葉がありましたので、十分反映できるかは自信がないのですけれど、そういう文言に改めたもので、一月に向けて、準備を進めていくということをしていきたいが。

もし、ここで確認した方がよければ時間を少しいただいて、考えていきたいが。

上野代；一任。部会長、調査部会一任ということでもう一度精査していただいて作っていただくということでもよろしいですか。

高田；配布される前に委員が一読できるような配布するかどうか。意見をフィードバックする時間あるか。

大輪；今日は12月1日です。今月末には配布していくことになるが、戻して意見を反省することができるかどうか。こういうことで配布しますよということではできかもしれないが。

長沢；どちらに手を挙げようか迷っているところがあるが、調査委員の方におおむねお願いをして、これだけ検討していただいたものなので、これを基本としてという方向でどうしてもここだけではという点を確認していただけた方がよいのでは。でも、今日の話の中で調査委員からここだけは確認したいところがあれば、少し時間を取って確認していくのはどうか。調査委員の方で

後は何とかなるという今の話題をもとにして一任してもらえば、このまま終わりにしてしまってもいいだろうが、その辺を一回休憩を取って調査委員がどう考えるか相談する時間を取った方がいいのかと思う。それで、もう一任でいいですということになれば。大まかなところまで確認してもらえばいいと思う。

上野代；10分から15分休憩をとる。長沢委員の案でいく。

鈴木；学校の時数の調査や通知表の件などは教育指導課で把握しているので必要な時に提示させていただく。

(休憩 16:03~16:19)

杉山；報告します。教職員用、枠の4つ目、今後の2学期制の にする「など」をとる。5年を迎えた現在ということ踏まえてアンケートを実施ということ。保護者との整合をとる。②は大切に時間とする。③は保護者も含めた形で、この状態で保護者用は枠の中は、二学期制のよさを生かしてということで、このままの形で。児童生徒用は前期、後期の切り替えがうまくできていますか、という問いかけについては入れるべきかどうか、再度検討いただきたい。①は授業については一体のものであるので、このまま。④頑張っているを努力しているに変更していく。大輪；基本的に2学期制のよさを前面に出していくことを前提に考えていきたい。通知表については保護者のニーズも考慮し②についてはこのまま。よさの中で触れていく。面接については学校も必要と考えているが、保護者の方の方からもニーズがあったと経緯と振り返ることができる。増えたと思いますかということも、気持ちとしてわかるが、大切にしているかと率直に聞いた方がよいのではないかと。

上野代；今の再度提案に対して、もう一度ご判断していただきたい。

小宮；了承。

小松；了承。

井上；了承。

高橋；前との違いをみるということなので

上野代；前後期の切り替えについての質問について、再度検討したい。この場で。

大輪；ここは迷った。子ども自身が答える立場になったとき、判断できるか難しいので検討してもらった。

上野代；保護者の方から切り替えができていないという判断はどうだろうか。

田中；小学生には難しい。中学生は自覚するしかない。個人差がある。

井上；6年、3年なので小学生は疑問がある。

大輪；やるっていえばやる。

高田；いかすのなら教師用、保護者用に入れる方がよいのでは。子どもが判断するのは難しいと思った。

高橋；子どもが切り替えているのかどうかわからない、教師の投げかけの方から出ているので、教師の方に聞いていもわからないけど、実際子どもの方に聞いてみるとどうなのか、と考えたが、今お話を聞いていると子どももわからないということで、ずっとわからないままで終わってしまうのかなと思う。

大輪；学校の指導に関わっているので。休み明けて一週間で切り替えるということ保護者へも働きかけたりして、学校が指導しなければいけない内容が、発問に入っているようにも思える。

高橋；それならとりさげる

小松；前後期の区切りが10月初旬にあることをよいと思うが、ならわかる。

大輪；湯河原は秋休みをとって切り替えている。五日間の休みで切り替えるができるということであるかもしれないが、小田原では切り替えができない悩みはある。区切りが難しいところである。学校によっては校長が始業式で話したばかりはおかしいので工夫している。聞きたいことは（ ）に出てくるのかなと思っている。

高橋；（ ）の中に書かれてくると考えれば聞くだけ無駄か、なくしてもかまわない

高田；（ ）の中の話し合いをする時間が確保できればよい。

上野代；学校用アンケートも含め、入試のことなどは事務局の資料でよいですね

川久保；保護者について、体験されている、されていない方がいる。保護者用の上に学年を書いてもらったらどうか。体験した保護者との区別ができる。学年だけでも。

上野代；もう一度調査部会で精査していただきたい。

鈴木；委員長に確認後訂正したものを委員に送付する。

長沢；それについて検討するのではないですね。

大輪；そうだ。時間的にも無理。

上野代；アンケートに関しては以上で。実施要領を見ていただきたい。一番から七番までありますが、ここにご質問ご意見を伺いたいたかった。目的はよいと思いますが、対象、日時、実施要領の時期はよい。懸案事項になると思われるのが、調査対象ですが、児童は小学校4年生から、そして中学生、保護者は対象となった児童生徒の全保護者、そして教職員ということでしょうか。調査対象はどうか。保護者は全保護者でないがよいか。というのは、現6年生しか3学期制を体験していない、保護者についても同じ。また、回答能力を考えて小学校4年生からということになっているが、4年生が必要かどうかということなどよろしいでしょうか。保護者は4年生以上の保護者になるが、その辺は特にどうか。

井上；これ以上だと量が多すぎてしまう。集計するのも大変。

大輪；集計は各校で考えている。標本数は1000票により信頼性が高くなる。1000は確保していきたい。

小松；保護者に兄弟がいた場合、それぞれとなるのか。

大輪；回答が同じになるので、それは片方でもかまわない。要は、1000票集まればよい。

曾我；小1～3の保護者の意見が反映されないがよいのか。全部の保護者ではなくなってしまうが。

井上；小学校5年生までは経験していない。だから、4、5年生をとれば、だいたいそれでおおむねわかるのではないか。だから1～3はやらなくても同じような回答が出てくるのかなと思っている。1から3がなくてもいいのではないか。

曾我；わかるのですが、以前もこのような形でとったわけですね。合計が6700児童が2830保護者が2566、教職員が889、合計となっているが、今回も変わらない数字が出てくるのかと思う。

井上；もし一年生を対象とすると、アンケートの中身も意見申し上げないといけないのか。

曾我；いや、子どもではなくて、子どもはわかるので。親もそうなりますよね。対象とならない親の方が保護者の意見として1から3年生までが抜けてしまうということになるが、いいのかな

と思った。

大輪；調査部会でも心配した。あがってきた物に対して、配慮をしていかなければいけない。たとえば、3学期制に戻ったとしますよね、そうすると2学期制しか知らない人たちがいるわけでそこを配慮していかなければいけない。色々な方が出てきたときに今後の色々なことについては形が変われば出てくるのかなあ、配慮をする必要があると考えている。

曾我；考え方としてそれがあれば、かまわない。なぜとらないかときかれたら困ると思う。

大輪；なぜとらないと聞かれたときに答えられないと困る。了解しました。

上野代；一学級の児童生徒は無作為にするのですね。

上野代；要領の（案）はとってよいか

一同、うなずく

上野代；全体を通してなにか。メンバーは同じか。

鈴木；基本的にはそうお願いしたい。教職員は異動があるかもしれないが。

高田；次回はいつ

鈴木；2月に集計、3月に報告をさせていただく。

上野代；協議の方を終わりにしたいと思う。協議の結果よりよいアンケートができた。集計作業、保護者のアンケートの協力をお願いします。お疲れ様でした。

鈴木；次回は、3月。詳細は後ほど連絡させていただく。以上で閉会。お疲れ様でした。